

## 令和 4 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

山口県

行 事 名 称	重要文化財消防訓練 周防国分寺
実施期間・日時	令和5年1月22日(日) 9:00~10:00
実 施 場 所	国指定重要文化財 周防国分寺金堂ほか(山口県防府市国分寺町2番67号)
主 催 者	周防国分寺・防府市消防署・防府市教育委員会文化財課

## ■実施内容

## 訓練の想定

周防国分寺金堂の電気系統配線から出火。地域住民による初期消火や放水銃稼働を行うが効果がなく、重要文化財である国分寺金堂全体に延焼の恐れが生じ、逃げ遅れた参拝者が金堂内に一人取り残されたと想定。

## 訓練の内容

自動火災報知設備により住職が火元を確認、関係者に119番通報の指示及び地域住民に火災の発生を通報(声と半鐘)、参拝者の避難誘導、地域住民による初期消火(バケツリレー・消火器)と文化財(模擬)の搬出を指示。

消防署及び消防団の到着後、住職は初期消火の効果がなかったこと、逃げ遅れが一人いることを消防に報告。消防は金堂内の参拝者を救出、火災防御活動を行い、要救助者を救急車に収容後に鎮火とし、一斉放水を行う。一斉放水終了後、講評等を受け、資機材の撤収を行い、訓練終了とする。

## 参加者及び役割分担

周防国分寺(2名): 119番通報、地域への通報、参拝者避難誘導、初期消火・文化財搬出の指示  
防府市消防本部(3名): 訓練指導・監察、講評  
防府市消防署(30名): 要救助者救出・搬送、放水訓練、安全管理、記録  
防府市消防団宮市分団(5名): 放水訓練  
国分寺自治会(10名): 初期消火、文化財(代替の箱)搬出  
防府市教育委員会文化財課(2名): 参拝者役(堂内・境内)、記録

## 特に工夫した点

訓練対象となる重要文化財建造物『周防国分寺金堂』の北側で、現在土塀を修復工事中である。そのため消防車による放水訓練は金堂の南面側からに限定して行った。放水銃も消防機器点検業者の立会のもと、南面の2基のみを稼働させた。

またコロナ対策として、参加者はマスクを着用し、赤白の手旗信号を活用して訓練を実施した。

## 問題点・課題

貯水槽が境内地の北端にあるため、今回の訓練ではポンプ車への給水のために貯水槽からホースを延長する作業を事前に準備していたが、約200mの延長距離は有事の際には即時対応は困難と思われる。

また、金堂に納められている文化財は、現実には人身大以上の大きく重い仏像群であり、これを搬出するには事前に搬出方法を検討しておくこと、また相当の人手を確保しておくことが必要と実感した。

## その他

周防国分寺の住職は最近代替わりしており、新住職には初めての訓練ということで、文化財防災についての意識を新たにし、地域との協力の必要性を実感されたとのことであった。

今後も訓練を続けていくことで、国分寺に限らず文化財防災における所有者・地域住民とのスムーズな連携を図っていきたい。

訓練風景



国分寺による119番通報と  
地域住民による初期消火・文化財搬出



放水銃稼働



消防車到着



消防車による放水



要救助者救出



一斉放水